

SURUGA bank Hello Book 2011

ミニディスクロージャー誌

第200期営業のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

ごあいさつ

当社の概要 平成23年3月31日現在

設立	明治28年10月19日		
本店	静岡県沼津市通横町23番地		
店舗数	国内	127	
	静岡県内	78	神奈川県内 36
	東京都内	5	北海道内 1
	宮城県内	1	埼玉県内 1
	千葉県内	1	愛知県内 1
	大阪府内	1	京都府内 1
	福岡県内	1	
資本金	30,043百万円		

目次

ごあいさつ	1
営業の概況	3
不良債権の状況	8
財務情報	10
株式についてのご案内	16
トピックス	17
“夢”の応援活動	18
CSR活動	19
主なインターネット支店一覧	20
営業店舗網	21

本誌の表示金額は単位未満を切り捨てて表示しています。

表紙写真

photographer: 大山行男 / Yukio Ohyama

写真家。1952年神奈川県小田原市生まれ。
『富士山』(グラフィック社)、『初めての富士山』(小学館)、
『富士』『樹海-富士』(ともに毎日新聞社)など著書多数。
2010年日本写真協会賞作家賞を受賞。



皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。ここに当社第200期の営業の概況についてご報告申しあげます。

【金融経済環境】

当期における日本経済は、年度前半は、欧州の債務問題、米国経済の回復の遅れなどを要因とした円高の影響により、景気回復の動きは鈍化しました。年度後半には、包括的な金融緩和政策や新興国向け輸出の伸びが牽引し、回復のペースは速まりましたが、3月11日に発生した東日本大震災は、東北地域を中心に甚大な被害を及ぼし、経済活動へさまざまな影響を及ぼすこととなりました。

【業界動向】

各金融機関におきましては、これまで金融円滑化への積極的な対応が求められてまいりましたが、震災被害も考慮した、より柔軟な対応が必要となっております。当社といたしましても、震災により被害を受けられた方を対象とした特別ローンのご提供、迅速なご預金の払い戻し、返済猶予等の貸付条件変更をはじめとする融資相談の受付など、真摯な対応を心がけております。

【当社の業況】

当社は、個人ならびに中小企業のお客さま向けのリテール業務を中心として、お客さまの期待を超えたサービスをご提供し続け、社会から不可欠の存在として高く評価されることを目標とするとともに、当社グループ全体の収益拡大および健全な財務体質の構築に努めております。当期につきましては、不良債権処理額が増加いたしました。当社のコアビジネスのひとつである個人ローンの残高は着実に増加し、円貨預貸金利益は引き続き過去最高益を更新することができました。利益還元の一環として、年間配当金につきましては、当初予定通り一株当たり13円（中間配当6.5円・期末配当6.5円）といたしました。

【当期中の取り組み】

環境活動に対する活動「SURUGA ECO ACTION」（スルガエコアクション）におきましては、平成22年7月、地球環境に配慮した「エコ店舗」第2号として、熱海支店をリニューアル・オープンいたしました。同店は、屋上緑化スペースの設置やエコガラスの採用、自動調光されたLED照明の採用、人感センサーによるトイレ照明の自動制御など、さまざまなエコ対応を行い、より一層、環境に優しい店舗を実現いたしました。その結果、静岡県建築物環境配慮制度（CASBEE静岡）において、静岡県内の金融機関としては初めて、Aランクを取得することができました。

新商品・サービスにつきましては、平成22年4月より、お一人おひとりに最適なマネープランのアドバイスをするサービス「スルガ・マネークリニック」を開始いたしました。マネー自己診断シートや女性専用ダイヤルの設置などを活用しながら、お客さまのライフスタイルにあったご提案をしてお、「お金に関する不安が解消された」とのお声をいただくなど、大変ご好評をいただいております。

また、平成22年10月には、教育・リフォーム・オートなどお客さまのライフイベントやお使いみちに応じてお選びいただけ、多くのお客さまにご利用いただいている、目的別カードローン「リザーブプランPLUSカード」に、新たに「デンタルプラン」を新設し、歯科治療における資金ニーズ全般にお応えしております。これからも、お客さまの暮らしをより彩り豊かなものにするために、お手伝いをまいります。

営業店舗につきましては、当期末の店舗数は13店舗のインターネット支店を含め127か店となっております。また、当社の基幹事業のひとつである住宅ローン等のご相談窓口「ドリームプラザ」につきましては、当期末24か所で営業しております。

当社は、「ライフ アンド ビジネス コンシェルジュ」として、お客さまの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをすべく、積極的にお客さまの夢の実現をサポートしてまいります。

また、当社は明治28年の創立から、平成22年10月19日をもちまして、115周年を迎えました。これもひとえに、これまでに皆さま方からいただいたご支援の賜物であり、心より厚く御礼申し上げます。今後も、新たな取り組みへ果敢に挑戦し、「お客さまの期待を超えた良質のサービス」をご提供することができるよう、当社グループ社員一丸となって努力してまいります。

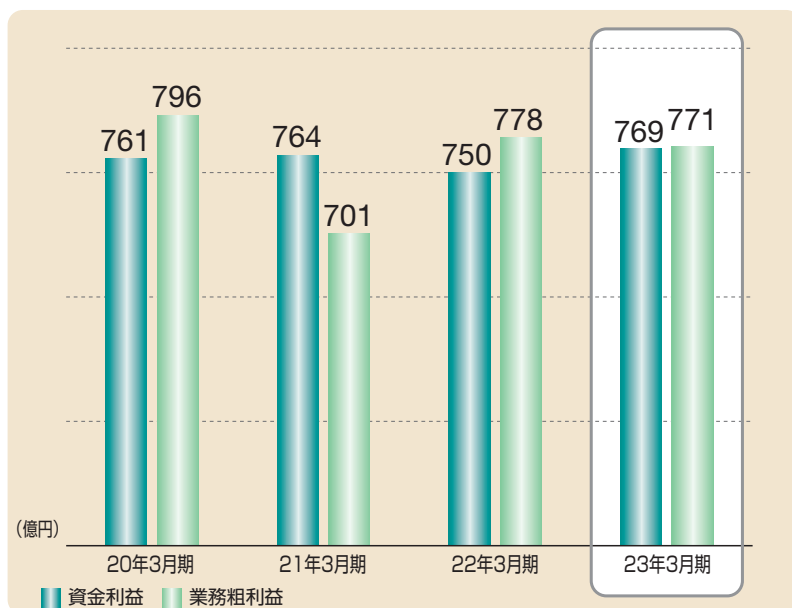
皆さま方には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

社 長 岡野光喜

営業の概況

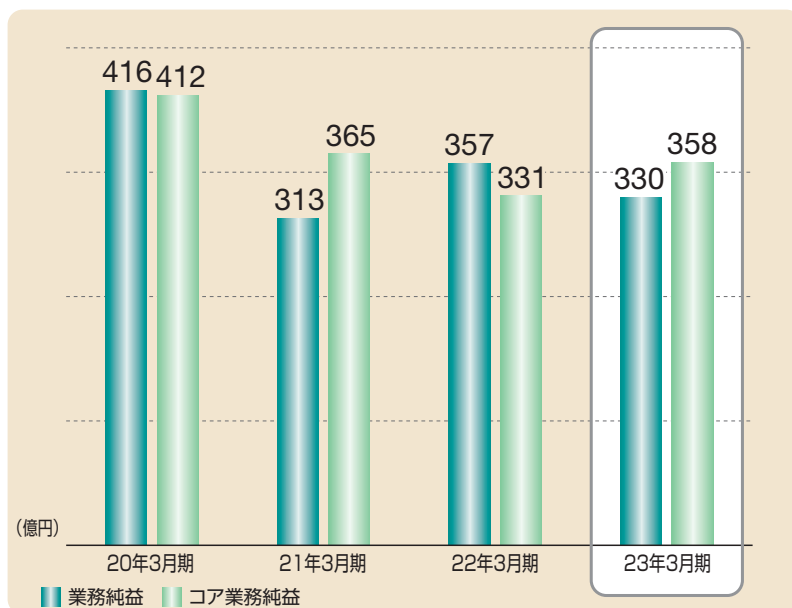
当期の業績につきましては、次のとおりです。



■ 資金利益／業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表すもので、貸出金や有価証券、預金などの利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、外国為替などの売買損益を表す「その他業務利益」により構成されます。

資金利益は収益性の高い個人ローンを中心とした貸出金残高が増加したことなどにより、前年度比19億円増加しました。



■ 業務純益／コア業務純益

当社のコアビジネスのひとつである個人ローン残高は順調に増加し、コア業務純益は前年度比27億円増加しました。

業務純益は資金利益が増加したものの、国債等債券損益の減少や一般貸倒引当金繰入額の増加などにより、前年度比27億円減少しました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。

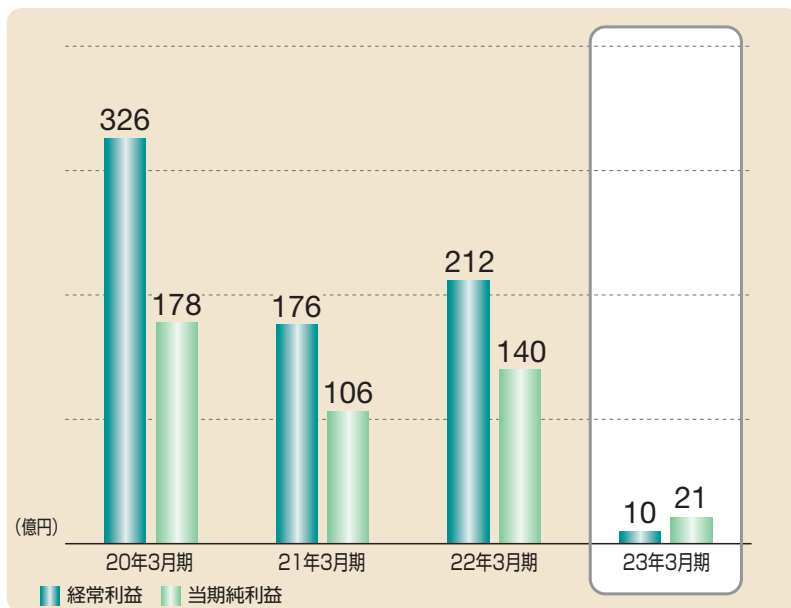
コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券関係損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益

＝業務粗利益－経費－一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益

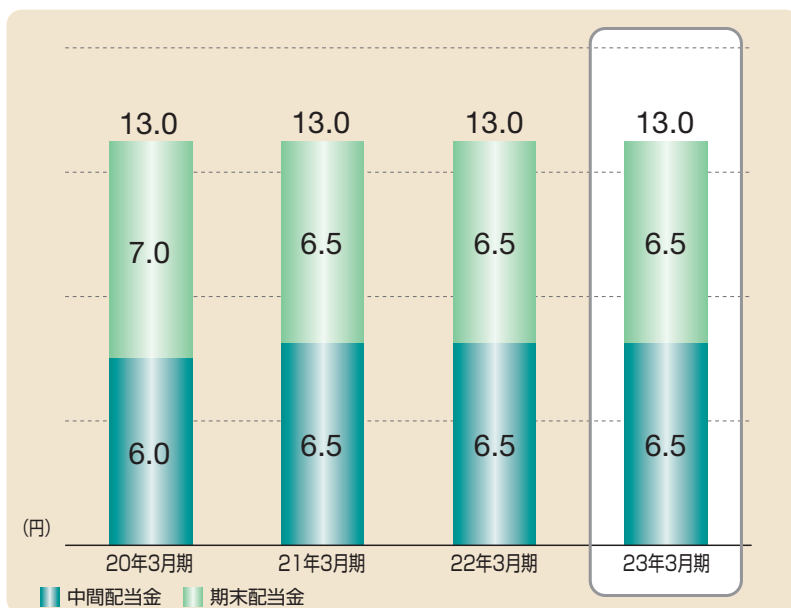
＝業務純益（一般貸倒引当金繰入前）－国債等債券損益（5動定戻）



■ 経常利益／当期純利益

経常利益は、業務純益の減少に加え、不良債権処理額の一時的な増加や株式市場の下落に伴う保有株式の減損処理の増加などにより、前年度比201億円減少しました。

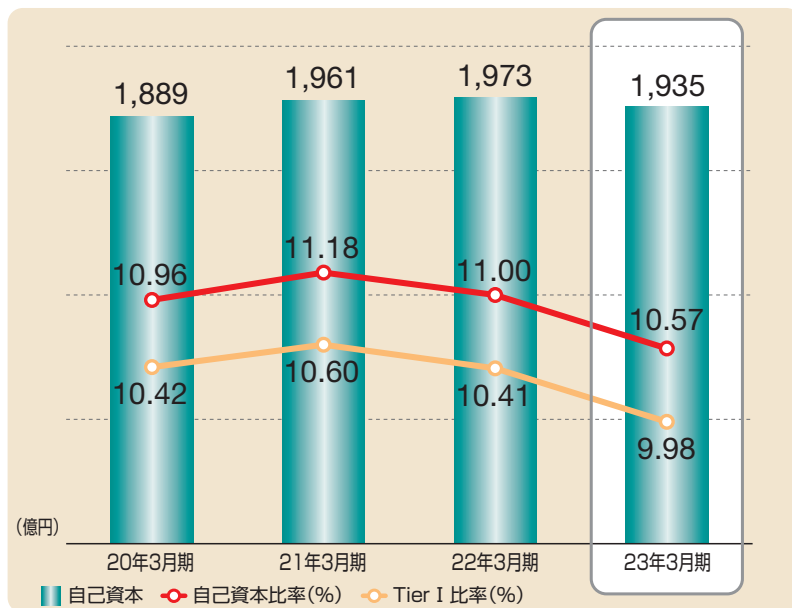
当期純利益は、経常利益の減少を主因に、前年度比119億円減少しました。



■ 一株当たり年間配当金

個人ローン残高が引き続き増加し、円貨預貸金利益が過去最高益となるなど本業が堅調に推移していることなどから、一株当たり年間配当金は当初予定通り13円といたしました。

今後も財務体質の強化を図るとともに、株主の皆さまへの利益還元を重要な経営課題のひとつとして、積極的に取り組んでまいります。

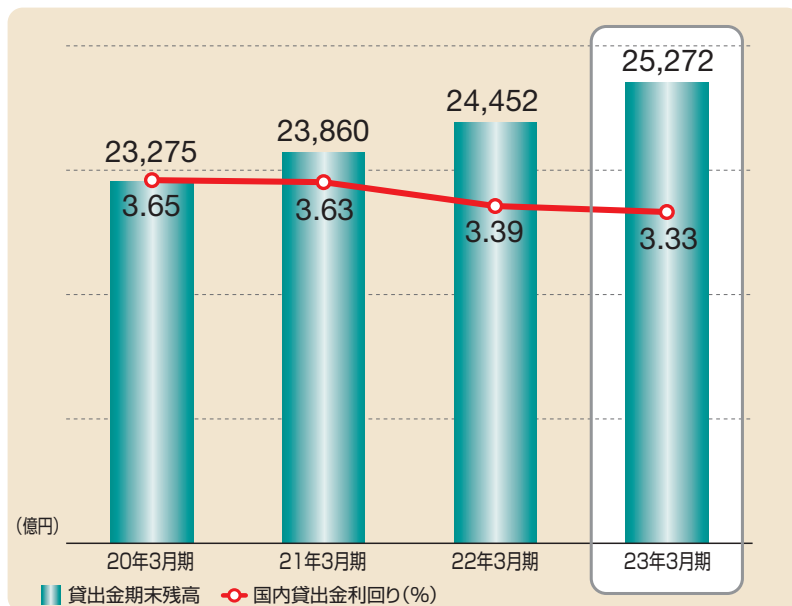


■ 自己資本／自己資本比率(国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、貸出金の増加などに伴うリスクアセットの増加や、自己株式の取得により、前年度末比0.43%低下し、10.57%となりましたが、引き続き高水準を維持しております。

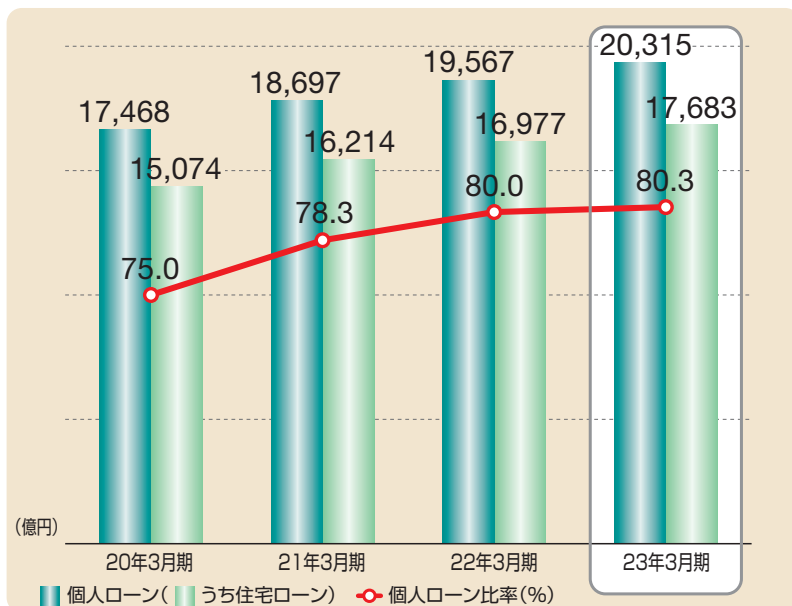
自己資本は資本金、資本剰余金、利益剰余金等の基本的項目(Tier I)と一般貸倒引当金等の補完的項目(Tier II)により構成されています。当社の補完的項目(Tier II)は一般貸倒引当金のみ計上しております。

自己資本比率
 = 自己資本額(基本的項目+補完的項目-控除項目) / リスクアセット × 100
 Tier I 比率
 = 自己資本額(基本的項目: Tier I) / リスクアセット × 100



■ 貸出金期末残高／国内貸出金利回り

貸出金期末残高は、個人ローンの順調な増加により、前年度末比820億円増加の2兆5,272億円となりました。また、国内貸出金利回りは、前年度上期中に政策金利引下げを受けた影響などにより、前年度比0.06%低下の3.33%となりました。

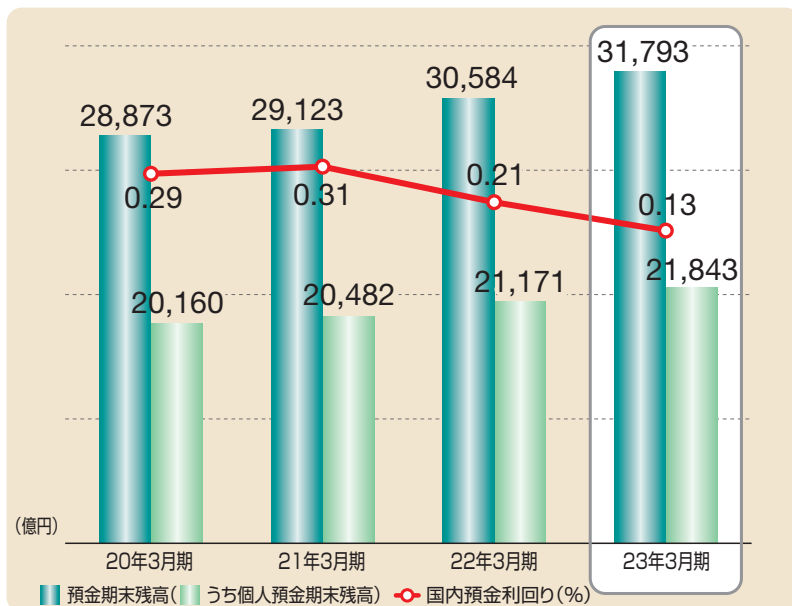


■ 個人ローンの推移

個人ローン残高につきましては、政府の経済対策等を背景とした住宅購入マインドの改善などにより、回復の兆しが表れつつあるものの、市場環境は依然として厳しい状況にある中、前年度末比747億円増加し、2兆円台に乗り、2兆315億円となりました。

住宅ローン期末残高は、前年度末比705億円増加し、1兆7,683億円となりました。

総貸出金に占める個人ローンの比率は80.3%となりました。



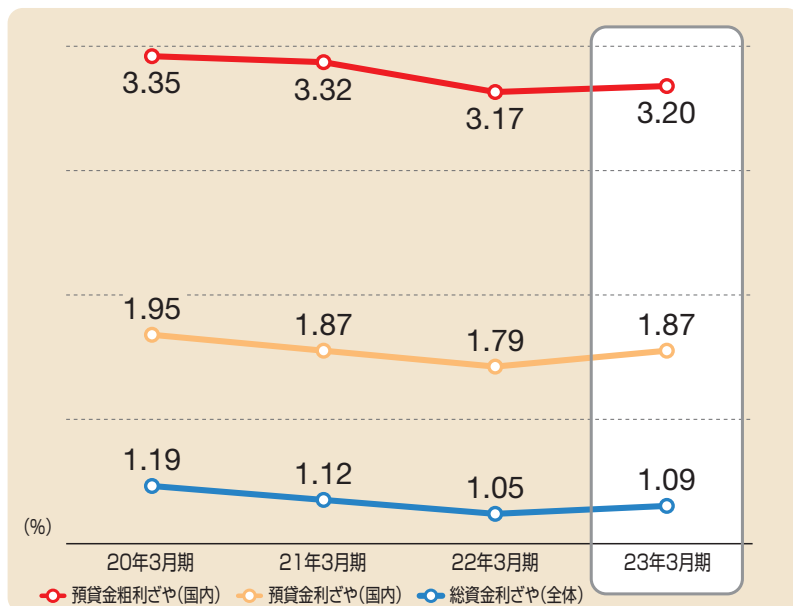
■ 預金期末残高／国内預金利回り

預金期末残高は、個人預金の増加などにより、前年度末比1,209億円増加し、3兆1,793億円となりました。

個人預金期末残高は、前年度末比672億円増加し、2兆1,843億円となりました。

国内預金利回りは、前年度比0.08%低下し、0.13%となりました。

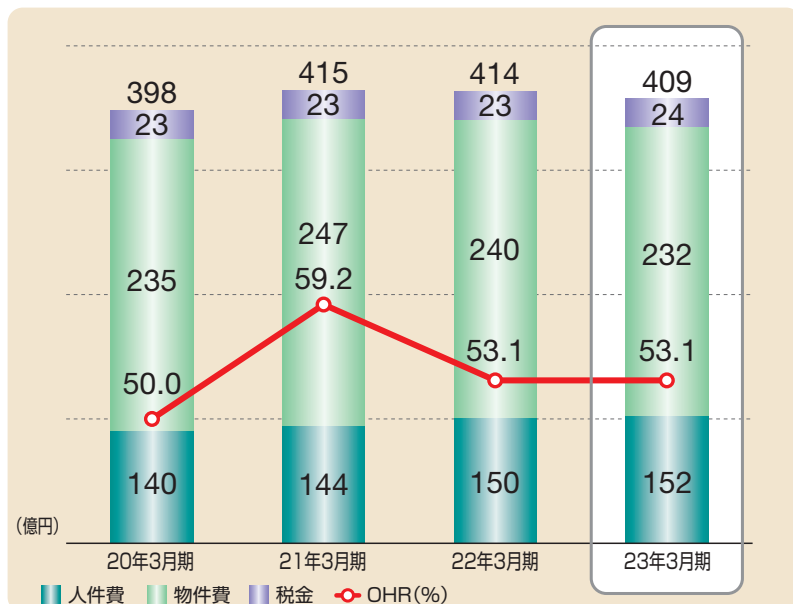
営業の概況



■ 預貸金粗利ざや(国内) / 預貸金利ざや(国内) / 総資金利ざや(全体)

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りから預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

預貸金利ざや(国内)は、預金利回りや経費率の低下が寄与し、前年度比0.08%の拡大となり、引き続き高い収益性を維持しております。

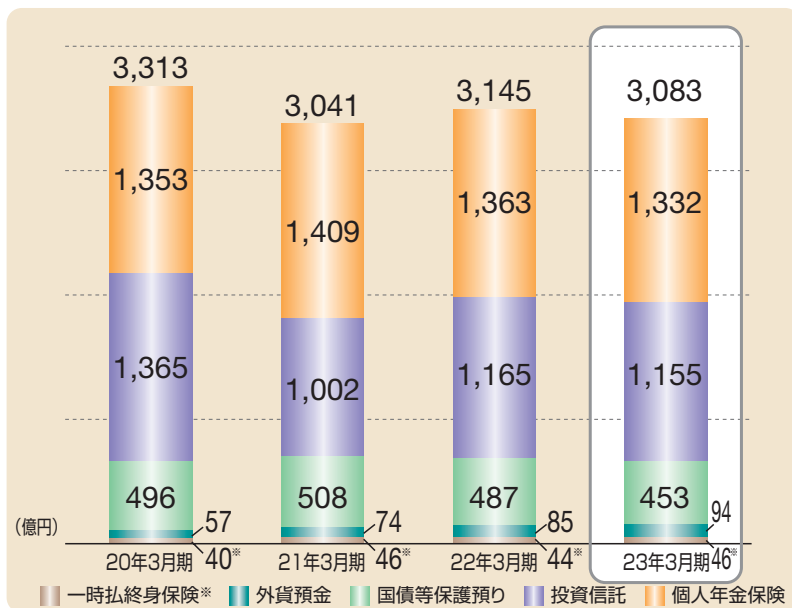


■ 経費 / OHR

経費は、採算性を重視し、見直しを進めた結果、前年度比5億円減少の409億円となりました。

業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、前年度比横ばいの53.1%となりました。

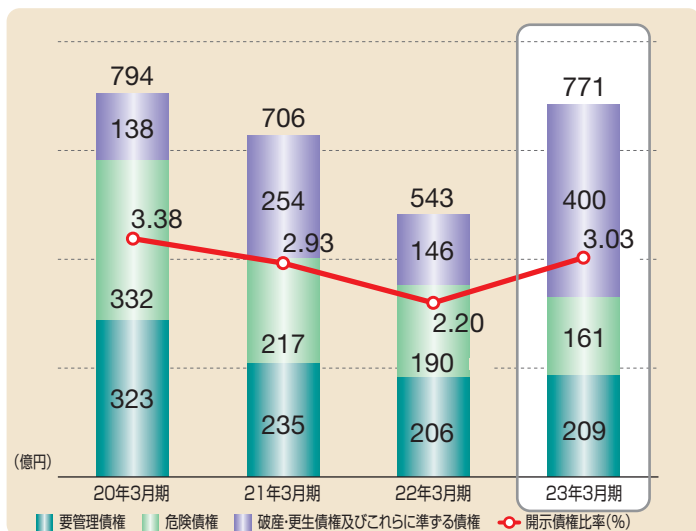
OHR(オーバーヘッドレシオ(%)) = 経費 / 業務粗利益 × 100



■ 個人預り資産残高(投資性商品)

個人預り資産(投資性商品)の期末残高は、お客さまのリスク回避志向の高まりを受け、運用資産をより安定的な円貨預金へシフトした影響などにより、前年度末比62億円の減少となりました。

不良債権の状況



■ 金融再生法開示債権残高・比率の推移

厳しい経済環境が続く中、金融円滑化への取り組み、経営改善の支援、休日相談窓口の開設など、取引先支援に向け、最大限のバックアップをしておりますが、取引先の法的手続きにより、開示債権額は前年度末比228億円増加し、771億円となりました。

総与信額に対する開示債権比率は、前年度末比0.83%上昇し、3.03%となりました。

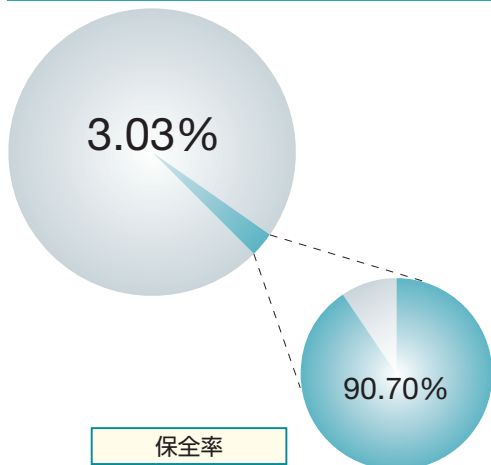
開示債権比率(%) = 開示債権残高 / 総与信残高 × 100

不良債権の状況

金融再生法に基づく開示債権

対象：要管理債権は貸出金のみ、その他は貸出金等と信関連債権および当社保証付私募債

総与信残高に占める比率

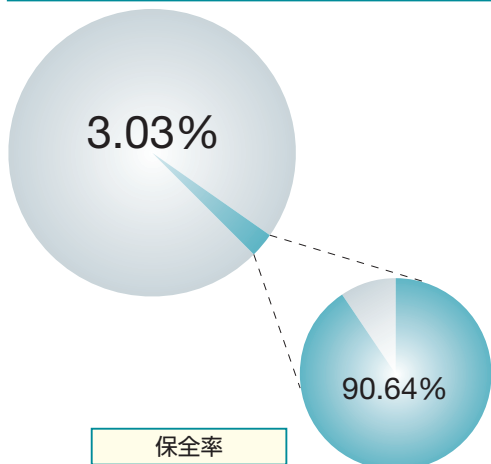


		担保・保証	引当額	保全率
破産・更生債権及びこれらに準ずる債権	400億円	175億円	225億円	100.00%
危険債権	161億円	131億円	22億円	95.63%
要管理債権	209億円	120億円	24億円	69.16%
小計	771億円	427億円	272億円	90.70%
正常債権	2兆4,680億円			
合計	2兆5,452億円			

リスク管理債権

対象：貸出金

総貸出金に占める比率



破綻先債権	22億円
延滞債権	534億円
3ヶ月以上延滞債権	12億円
貸出条件緩和債権	197億円
合計	767億円

貸出金残高(未残) 2兆5,272億円

自己査定における債務者区分

対象：貸出金等と信関連債権

破綻先	24億円
実質破綻先	376億円
破綻懸念先	161億円
要注意先	
要管理先	314億円
要管理先以外の要注意先	2,503億円
正常先	2兆2,064億円
合計	2兆5,444億円

※貸出金等と信関連債権：貸出金・支払承諾見返・外国為替・貸付有価証券・貸出金に準ずる仮払金・貸出金未収利息

財務情報

第200期末 連結貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	81,746
コールローン及び買入手形	320,121
商品有価証券	70
金銭の信託	1,360
有価証券	383,675
貸出金	2,523,547
外国為替	3,870
リース債権及びリース投資資産	6,178
その他資産	40,301
有形固定資産	39,361
建物	9,716
土地	16,659
リース資産	241
建設仮勘定	429
その他の有形固定資産	12,313
無形固定資産	6,731
ソフトウェア	2,781
リース資産	75
ソフトウェア仮勘定	3,449
その他の無形固定資産	425
繰延税金資産	27,513
支払承諾見返	4,365
貸倒引当金	△46,390
資産の部合計	3,392,455

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,176,292
借入金	2,995
外国為替	9
その他負債	17,679
賞与引当金	643
退職給付引当金	159
役員退職慰労引当金	2,615
睡眠預金払戻損失引当金	245
偶発損失引当金	232
支払承諾	4,365
負債の部合計	3,205,237
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	19,501
利益剰余金	148,889
自己株式	△12,793
株主資本合計	185,640
その他有価証券評価差額金	△302
繰延ヘッジ損益	17
その他の包括利益累計額合計	△284
新株予約権	694
少数株主持分	1,167
純資産の部合計	187,217
負債及び純資産の部合計	3,392,455

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第200期 連結損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	102,961
資金運用収益	84,200
貸出金利息	81,610
有価証券利息配当金	1,960
コールローン利息及び買入手形利息	377
預け金利息	0
その他の受入利息	251
役務取引等収益	12,599
その他業務収益	5,346
その他経常収益	815
経常費用	100,871
資金調達費用	4,198
預金利息	4,039
借入金利息	49
その他の支払利息	108
役務取引等費用	11,671
その他業務費用	4,080
営業経費	42,482
その他経常費用	38,438
貸倒引当金繰入額	23,626
貸出金償却	6,456
株式等売却損	0
株式等償却	3,497
その他の経常費用	4,857
経常利益	2,089

科目	金額
特別利益	2,820
固定資産処分益	34
償却債権取立益	2,783
その他の特別利益	2
特別損失	355
固定資産処分損	355
税金等調整前当期純利益	4,555
法人税、住民税及び事業税	7,140
法人税等調整額	△5,315
法人税等合計	1,825
少数株主損益調整前当期純利益	2,730
少数株主利益	150
当期純利益	2,579

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第200期 連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
資本剰余金	
前期末残高	19,501
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	19,501
利益剰余金	
前期末残高	149,514
当期変動額	
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,579
自己株式の処分	△21
当期変動額合計	△624
当期末残高	148,889
自己株式	
前期末残高	△9,486
当期変動額	
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	117
当期変動額合計	△3,307
当期末残高	△12,793
株主資本合計	
前期末残高	189,572
当期変動額	
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,579
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	96
当期変動額合計	△3,932
当期末残高	185,640

科目	金額
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	1,914
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,216
当期変動額合計	△2,216
当期末残高	△302
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	1
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	15
当期変動額合計	15
当期末残高	17
その他の包括利益累計額合計	
前期末残高	1,915
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,200
当期変動額合計	△2,200
当期末残高	△284
新株予約権	
前期末残高	573
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	121
当期変動額合計	121
当期末残高	694
少数株主持分	
前期末残高	1,028
当期変動額	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	138
当期変動額合計	138
当期末残高	1,167
純資産合計	
前期末残高	193,090
当期変動額	
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,579
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	96
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,941
当期変動額合計	△5,873
当期末残高	187,217

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第200期末 貸借対照表 (平成23年3月31日現在)

(単位：百万円)

科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	81,657
コールローン	320,121
商品有価証券	70
金銭の信託	1,360
有価証券	383,838
貸出金	2,527,257
外国為替	3,870
その他資産	33,478
有形固定資産	39,126
無形固定資産	6,654
繰延税金資産	26,742
支払承諾見返	4,371
貸倒引当金	△42,796
資産の部合計	3,385,753

科目	金額
(負債の部)	
預金	3,179,379
外国為替	9
その他負債	14,161
賞与引当金	601
役員退職慰労引当金	2,605
睡眠預金払戻損失引当金	245
偶発損失引当金	232
支払承諾	4,371
負債の部合計	3,201,606
(純資産の部)	
資本金	30,043
資本剰余金	18,585
利益剰余金	147,942
利益準備金	30,043
その他利益剰余金	117,898
自己株式	△12,793
株主資本合計	183,777
その他有価証券評価差額金	△345
繰延ヘッジ損益	20
評価・換算差額等合計	△324
新株予約権	694
純資産の部合計	184,147
負債及び純資産の部合計	3,385,753

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第200期 損益計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
経常収益	94,627
資金運用収益	81,135
貸出金利息	78,548
有価証券利息配当金	1,947
コールローン利息	377
その他の受入利息	262
信託報酬	0
役務取引等収益	11,972
受入為替手数料	2,947
その他の役務収益	9,024
その他業務収益	765
外国為替売買益	126
国債等債券売却益	508
国債等債券償還益	130
その他経常収益	754
株式等売却益	30
金銭の信託運用益	21
その他の経常収益	701

科目	金額
経常費用	93,527
資金調達費用	4,148
預金利息	4,039
金利スワップ支払利息	66
その他の支払利息	42
役務取引等費用	12,267
支払為替手数料	852
その他の役務費用	11,414
その他業務費用	305
商品有価証券売買損	43
国債等債券売却損	0
国債等債券償還損	261
営業経費	41,173
その他経常費用	35,632
貸倒引当金繰入額	23,153
貸出金償却	6,144
株式等売却損	0
株式等償却	3,268
金銭の信託運用損	11
その他の経常費用	3,055
経常利益	1,099
特別利益	2,812
固定資産処分益	33
償却債権取立益	2,779
特別損失	355
固定資産処分損	355
税引前当期純利益	3,557
法人税、住民税及び事業税	6,838
法人税等調整額	△5,388
法人税等合計	1,450
当期純利益	2,106

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第200期 株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

科目	金額
株主資本	
資本金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
資本剰余金	
資本準備金	
前期末残高	18,585
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	18,585
その他資本剰余金	
前期末残高	—
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	—
資本剰余金合計	
前期末残高	18,585
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	18,585
利益剰余金	
利益準備金	
前期末残高	30,043
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	30,043
その他利益剰余金	
別途積立金	
前期末残高	103,032
当期変動額	—
当期変動額合計	—
当期末残高	103,032

科目	金額
繰越利益剰余金	
前期末残高	15,964
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,106
自己株式の処分	△21
当期変動額合計	△1,098
当期末残高	14,866
利益剰余金合計	
前期末残高	149,040
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,106
自己株式の処分	△21
当期変動額合計	△1,098
当期末残高	147,942
自己株式	
前期末残高	△9,486
当期変動額	—
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	117
当期変動額合計	△3,307
当期末残高	△12,793
株主資本合計	
前期末残高	188,183
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,106
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	96
当期変動額合計	△4,405
当期末残高	183,777

科目	金額
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	
前期末残高	1,834
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,179
当期変動額合計	△2,179
当期末残高	△345
繰延ヘッジ損益	
前期末残高	5
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	15
当期変動額合計	15
当期末残高	20
評価・換算差額等合計	
前期末残高	1,839
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,164
当期変動額合計	△2,164
当期末残高	△324
新株予約権	
前期末残高	573
当期変動額	—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	121
当期変動額合計	121
当期末残高	694
純資産合計	
前期末残高	190,595
当期変動額	—
剰余金の配当	△3,183
当期純利益	2,106
自己株式の取得	△3,424
自己株式の処分	96
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△2,042
当期変動額合計	△6,448
当期末残高	184,147

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当)

9月30日(中間配当)

そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。なお、銀行法第20条6項の規定による決算公告につきましては、当社ホームページの会社情報・IR情報欄の[決算公告]欄に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社

同事務取扱場所

東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

日本証券代行株式会社 本店

同連絡先

〒137-8650

東京都江東区塩浜二丁目8番18号

日本証券代行株式会社 代理人部

電話 0120-707-843 (フリーダイヤル)

特別口座でのお手続き用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ お知らせ

(1) お届け内容(ご住所、配当金振込先など)の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(2) 配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(3) 未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせ下さい。

(4) 単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。

特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

(5) 特別口座から一般口座への振替申請手続きについて

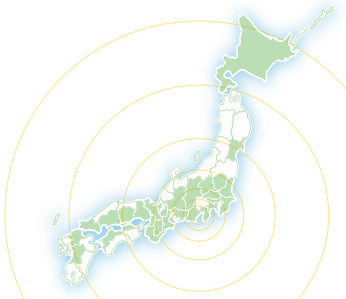
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせ下さい。

注) 特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

トピックス

ゆうちょ銀行 住宅ローン等お取扱い店舗拡大

当社は株式会社ゆうちょ銀行と個人ローン業務において、平成20年より提携をしておりますが、平成22年5月より、新たに32店舗においてお取扱いを開始いたしました。これにより計82店舗にてご相談を受け付けております。



お金に関するアドバイスサービス 「スルガ・マネークリニック」女性専用ダイヤルを開設

お金に関するご心配事などをお聞きし、マネープランをアドバイスする「スルガ・マネークリニック」に、新たに女性のお客さま専用ダイヤルを開設いたしました。多種多様化するライフスタイルを楽しむ女性のためのマネープランを、女性オペレーターが親身にご提案いたします。

●専用フリーダイヤル

☎ 0120-718-239

●女性専用フリーダイヤル

☎ 0120-608-189

月～金曜日（祝日を除く）

9:00～17:00



東日本大震災にかかる災害等を踏まえた ご融資の相談について

東日本大震災において被災された皆さまに心からお見舞い申しあげます。当社は今回の災害により被害を受けられた方を対象とした特別ローンをお取扱いしております。

また、災害の影響を直接的、間接的に受けられたお客さまからの資金需要ならびに返済猶予等の貸付条件変更等のご相談も受け付けております。

●アクセスセンター

☎ 0120-50-8689 月～金曜日（祝日を除く）9:00～19:00

「リザーブドプランプラス デンタルプラン」 お取扱い開始

平成22年10月より、目的ローン「リザーブドプランプラス」に、教育・リフォーム・オート・フリーに加え、新たに「デンタル」プランを新設いたしました。インプラント、歯列矯正などの歯科治療をお考えのお客さまの夢を積極的に応援いたします。

●アクセスセンター「デンタルプラン」専用フリーダイヤル

☎ 0120-895-560 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00

「ダイレクト投資信託」お申し込み手数料無料化

「ダイレクト投資信託」*のすべてのお申し込み手数料を平成22年10月より、邦銀で初めて、無料といたしました。

*ダイレクト投資信託はインターネットおよびお電話で投資信託をお好きなときに申し込みできるサービスです。

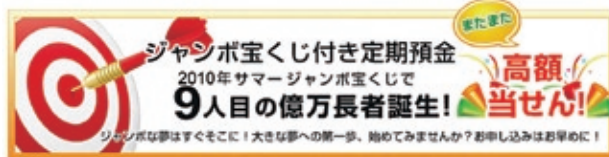
●アクセスセンター 投資デスク

☎ 0120-86-1449 月～金曜日（祝日を除く）9:00～17:00



「ジャンボ宝くじ付き定期預金」 9人目の億万長者誕生！

平成11年の取扱開始以来、「ジャンボ宝くじ付き定期預金」は、日本全国のお客さまに大きな夢をお届けしています。お届けしているすべての宝くじは、高額当せん者続出で全国的にも有名な東京の「西銀座チャンスセンター」で購入し、福徳の神が祭られている三嶋大社（静岡県）にて当せん祈願をしております。



●当せん者続出の「理由」をご紹介中

<http://www.surugabank.co.jp/takarakuji/>

“夢”の応援活動

当社は、平成22年10月19日、創立115周年を迎えました。
これまでさまざまなかたちで支えていただいた皆さまに、心より感謝の気持ちをお伝えいたします。
これからも、皆さまの〈夢をかたちに〉する、〈夢に日付を〉いれるお手伝いをしてまいります。

サッカーから夢を届ける 「DREAM」サッカーの夢応援をしています

日本サッカー協会の「こころのプロジェクト」*に協賛し、未来を担う子どもたちの「夢」のサポートを行っています。また、「天皇杯全日本サッカー選手権大会」や国際大会の「スルガ銀行チャンピオンシップ」、静岡県内の年代別選手権「スルガカップ」、一般社会人向けの「SURUGA bank CUPフットサルフェスタ」等に協賛しています。



※Jリーグの現役選手やOBなどが夢先生として、小学校を訪問し、夢の大切さを伝える「夢の教室」活動を実施しています。

あなたの「夢見る力」「夢探し」をサポート d-labo(夢研究所)

d-laboでは「お客さまの夢から未来を創る」をテーマにさまざまなセミナーやイベント、展示会を開催しています。

平成23年4月29日～5月5日はアートデザイナーによる日本の林業活性化を呼びかける企画展「JAPAN FOREST DESIGN PROJECT」を開催しました。



● d-laboについて詳しくはこちら
<http://www.d-labo-midtown.com/index.php>

気球に想いを乗せて 皆さまの夢を応援しています

当社は皆さまの「大きな夢」「ふくらむ夢」を熱気球「ドリームダイレクト号」に乗せて、大空を飛行しています。

年間5回開催される「熱気球ホンダグランプリ大会」をはじめ、各地のイベントに参加し、主に体験搭乗用の熱気球として多くの方々を夢の世界へご案内しています。



わたしたちの未来のために 「SURUGA ECO ACTION」に取り組んでいます

清水三保支店 移転オープン

平成23年4月、大型商業施設「ベイドリーム清水」内に移転オープンしました。消費電力が少ないLED照明やカーボンオフセット付き床材を採用し、環境に配慮しています。



「COOL BIZ」「ライトダウン」の実施強化

平成23年度は政府が推進している「COOL BIZ」、「ライトダウン」の実施強化を行っています。「COOL BIZ」を例年より2か月間延長し、「ライトダウン」を年間8回に増やすなど、全社で節電と地球温暖化防止に取り組んでいます。



CSR活動 地域社会の文化づくり・経済の活性化のために

当社は社会の一員として役割や責任を認識し、お客さま、株主さま、地域社会など各ステークホルダーのご期待に応え、継続的に社会的責任を果たしてまいります。

教育・文化・福祉等支援活動の取り組み

スルガ奨学財団

当社設立者岡野喜太郎翁の百歳を記念して設立され、高校在学3年間、大学在学4年間、外国人留学生の大学在学2年間、それぞれ返済義務のない奨学金を給与しています。奨学金制度による卒業生は平成23年3月末で5,012名にのびります。



静岡サッカーミュージアム

当資料館はサッカー王国静岡の歴史を後世に伝えていくため平成16年に開館しました。

平成23年4月には川勝静岡県知事より、新たに静岡出身の名選手のユニフォーム等をご贈りいただきました。



静岡県内・海外大学生インターンシップ

平成18年から日本大学国際関係学部および静岡県立大学の学生を対象にインターンシップを開催しています。また、平成22年からは海外大学生を対象としたプログラムも開催しています。



井上靖文学館

文豪・井上靖の作品群を読み継ぐために、生前ゆかりの物品・資料を保存し、公開しています。また、企画展や子どもたちとの「読み話し会」など、さまざまな活動を展開しています。



ベルナール・ビュフェ美術館

昭和48年創設の当美術館は現代フランス画壇の巨匠、故ベルナール・ビュフェの作品約2,000点を展示しています。また、子どもたちの参加体験型美術館「ビュフェ子ども美術館」も併設しています。



重度障がい者支援活動

重度障がい者に雇用機会を提供し、社会的経済的自立を促進するとともに、技術習得を図ることなどを目的とした印刷会社、株式会社エイ・ピー・アイを静岡県、沼津市、当社の共同出資で平成2年に設立しました。本誌の印刷は同社に協力をいただいています。



主なインターネット支店一覧

銀行取引でマイルが貯まる新しいマイレージ&バンキングスタイル

ANA支店

<http://www.surugabank.co.jp/ana/>

☎ 0120-029-589
(海外から (81) 55-98-02988)
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:30～17:00



9人もの億万長者誕生の実績！大好評の宝くじ付き商品をご提供

ドリームダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/dream/>

☎ 0120-86-1689
お電話承り時間
月～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



OCN会員専用の金融サービスが充実

OCN支店

<http://www.surugabank.co.jp/ocn/>

☎ 0120-005-175
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



ゆうちょ銀行でお申し込みできるスルガ銀行のローンお取引店

ゆうちょ専用支店

<http://www.surugabank.co.jp/yb/>

☎ 0120-745-600
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



女性向けのバンキングサイト

ソネット支店

<http://www.surugabank.co.jp/so-net/>

☎ 0120-50-2189
お電話承り時間
月～土曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



新しい決済のカタチ！便利・安心な「Visaデビットカード」

マイ支店

<http://www.surugabank.co.jp/my/>

☎ 0120-008-925
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



インターネットを活用した先進の金融サービスをご提供

ダイレクトバンク支店

<http://www.surugabank.co.jp/directbank/>

☎ 0120-708-807
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



付加価値の高いビジネスローンサービスをご提供

イービジネスダイレクト支店

<http://www.surugabank.co.jp/ebusinessdirect/>

☎ 0120-185-285
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 10:00～18:00



銀行取引に応じてドコモポイントが貯まる

ネットバンク支店ドコモプレミアクラブ応援バンク

<http://www.surugabank.co.jp/docomo/>

☎ 0120-17-2038
お電話承り時間
月～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00



(平成23年4月30日現在)

営業店舗網 (127か店) (平成23年4月30日現在)

●静岡県 (78か店)

- 9 E◎ 本店営業部
- 9 E○ 沼津原町支店
- 9 E 徳倉支店
- 9 E○ 沼津駅支店
- 9 E○ 沼津大手町支店
- 5 沼津市役所出張所
- 8 E○ 沼津港支店
- 9 E○ 沼津南支店
- 8 E 沼津静浦支店
- 9 E○ 沼津青野支店
- 9 E 沼津あしたか支店
- 9 E◎ 沼津セントラル支店
- 9 E◎ 三島支店
- 9 E◎ 三島セントラル支店
- 9 E○ 三島西支店
- 9 E◎ 長泉支店
- 8 E ウェルディ長泉出張所
- ANA支店
- OCN支店
- ソネット支店
- ダイレクトバンク支店
- ドリームダイレクト支店
- ネットバンク支店
- マイ支店
- エスイーバンク支店
- ダイレクトワン支店
- イービジネスダイレクト支店
- タウンネットワーク支店
- ハウジングローン支店
- 9 E◎ 清水町支店
- 9 E○ 大場支店
- 9 E○ 伊豆長岡支店
- 9 E◎ 伊豆中央支店
- 8 E○ 修善寺支店
- 8 E○ 中伊豆支店
- 9 E◎ 熱海支店
- 9 E◎ 熱海駅支店
- 9 E◎ 伊東支店
- 9 E○ 伊東駅支店
- 8 E◎ 下田支店
- 8 E○ 松崎支店
- 8 E○ 伊豆稲取支店
- 9 E◎ 御殿場駅支店
- 9 E◎ 御殿場西支店
- 9 E◎ 御殿場東支店
- 8 E◎ 裾野支店
- 9 E○ 小山支店
- 9 E◎ 富士吉原支店
- 9 E 富士市役所前出張所
- 9 E◎ 富士支店
- 9 E○ 富士鷹岡支店
- 8 E◎ 富士宮支店
- 8 E◎ 清水支店
- 9 E 興津支店
- 9 E○ 清水駅支店
- 8 E○ 清水三保支店
- 8 E 清水高橋支店
- 9 E○ 草薙支店
- 9 E◎ 静岡支店
- 9 E◎ 静岡南支店
- 6 ○ 静岡県庁支店
- 8 E○ 伝馬町支店
- 9 E◎ 静岡東支店
- 8 E 静岡上土支店
- 8 E○ 焼津支店
- 9 E○ 岡部支店
- 9 E○ 藤枝駅支店

8 E○ 島田支店

- 9 E○ 榛原支店
- 8 E○ 相良支店
- 10 E○ 金谷支店
- 9 E◎ 掛川支店
- 8 E○ 袋井支店
- 8 E○ 磐田支店
- 8 E 天竜支店
- 9 E◎ 浜松支店
- 8 E 浜松追分支店
- 8 E○ 浜松北支店

●神奈川県 (36か店)

- 8 E◎ 横浜支店
- 6 神奈川県庁出張所
- 11 E○ 横浜東口支店
- 11 E◎ 横浜日吉支店
- 9 E○ 横浜戸塚支店
- 8 E○ 横浜弥生台支店
- 8 E○ 横浜若葉台支店
- 9 E◎ 横浜磯子支店
- 9 E○ 横浜六ツ川支店
- 9 E◎ 横須賀支店
- 8 E○ 横須賀武山支店
- 9 E◎ 久里浜支店
- 8 E○ 三浦海岸支店
- 8 E◎ 鎌倉支店
- 9 E◎ 藤沢支店
- 8 E◎ 湘南ライフタウン支店
- 9 E◎ 湘南台支店
- 6 慶應義塾大学出張所
- 9 E○ 辻堂支店
- 9 E◎ 茅ヶ崎支店
- 9 E○ 茅ヶ崎鶴が台支店

8 E 浜見平支店

- 9 E◎ 平塚支店
- 9 E◎ 厚木支店
- 9 E○ 厚木鷹尾支店
- 8 E◎ 相模原支店
- 8 E○ 東林間支店
- 8 E○ 中央林間支店
- 9 E◎ 海老名支店
- 9 E◎ 秦野支店
- 9 E◎ 小田原支店
- 9 E◎ 小田原東支店
- 8 E◎ 松田支店
- 8 E◎ 南足柄支店
- 9 E◎ 箱根支店
- 8 E 湯河原支店

●東京都 (5か店)

- 9 E◎ 東京支店
- 6 E 渋谷支店
- 6 E 新宿支店
- 7 E ミッドタウン支店
- ゆうちょ専用支店

●その他 (8か店)

- 6 札幌支店
- 6 仙台支店
- 6 大宮出張所
- 6 柏出張所
- 6 名古屋支店
- 6 大阪支店
- 6 京都支店
- 6 福岡支店

店舗のご案内

◎印は外貨両替取扱店

○印は外貨両替取扱店(外貨現金売渡のみ)

E印はATM、土曜・日曜・祝日取扱店

(1/1～1/3および5/3～5/5を除く

ただし5/3～5/5のうち日曜日にあたる日は
営業)

5はATM平日17時まで取扱店

6はATM平日18時まで取扱店

7はATM平日19時まで取扱店

8はATM平日20時まで取扱店

9はATM平日21時まで取扱店

10はATM平日22時まで取扱店

11はATM平日23時まで取扱店

自動取引機(ATM)設置状況

●店舗内設置	113か所	334台
●店舗外設置	27,399か所	28,988台
(うちスルガATM)	156か所	178台)
(うちセブン銀行ATM)	14,094か所	15,443台)
(うちイーネットATM)	10,996か所	11,051台)
(うちタウンネットATM)	483か所	483台)
(うちイオン銀行ATM)	1,670か所	1,833台)
●合計	27,512か所	29,322台
	(平成23年4月30日現在)	

銀行代理店(82か店)

銀行代理業者の商号：株式会社ゆうちょ銀行

銀行代理業務の概要：ゆうちょ銀行直営店82店舗においてスルガ銀行の住宅ローン等個人ローン業務に係る契約締結の媒介

●北海道(1か店) 札幌支店	熊谷店 川口店 所沢店 越谷店 浦和店 上尾店	登戸店 藤沢店 橋本店 横須賀店	成城店 葛西店 武蔵野店	●愛知県(3か店) 名古屋支店 中川店 豊橋店	枚方店 布施店 豊中店	●広島県(2か店) 広島支店 福山店
●宮城県(1か店) 仙台支店	●千葉県(5か店) 船橋店 習志野店 柏店 八千代店 若葉店	●東京都(17か店) 本店 京橋店 芝店 浅草店 蒲田店 品川店 渋谷店 中野店 豊島店 赤羽店 練馬店 光が丘店 立川店 新宿店	●長野県(1か店) 長野支店	●三重県(1か店) 四日市店	●奈良県(1か店) 奈良店	●山口県(1か店) 山口店
●茨城県(2か店) 水戸店 つくば店	●神奈川県(9か店) 横浜店 都筑店 青葉台店 港北店 川崎店	●石川県(1か店) 金沢支店	●岐阜県(1か店) 岐阜店	●滋賀県(1か店) 大津店	●兵庫県(4か店) 神戸店 姫路店 尼崎店 宝塚店	●香川県(1か店) 高松店
●栃木県(1か店) 宇都宮店		●静岡県(2か店) 静岡店 浜松店	●京都府(2か店) 京都店 伏見店	●大阪府(7か店) 大阪支店 大阪東店 堺店 吹田店	●和歌山県(1か店) 和歌山店	●愛媛県(1か店) 松山支店
●群馬県(2か店) 前橋店 高崎店			●福岡県(3か店) 北九州店 博多店 久留米店		●岡山県(2か店) 岡山店 倉敷店	●熊本県(1か店) 熊本支店
●埼玉県(8か店) さいたま支店 川越店						

ATMネットワークのご案内

入金も出金もできるATM



ゆうちょ銀行のATM

セブン銀行のATM



E-netマークのコンビニATM



スリーエフ店内に設置されているタウンネットワークサービスのATM

出金ができるATM



全国の提携金融機関
ATM・CD

イオン銀行

イオン銀行のATM

最寄りのATMの情報が検索できます。

<http://www.surugabank.co.jp/surugabank/shiten/>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡下さい。

スルガ銀行緊急サポートセンター

☎055-987-8182 24時間365日(有人受付)

同時に最寄りの警察(交番)にもお届け下さい。

ローンご相談窓口


ドリームプラザ日本橋	横須賀ハウジングローンセンター
ドリームプラザ渋谷	湘南ハウジングローンセンター
ドリームプラザ新宿	平塚ハウジングローンセンター
ドリームプラザ横浜	厚木ハウジングローンセンター
ドリームプラザ札幌	中央林間ハウジングローンセンター
ドリームプラザ仙台	小田原ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大宮	三島ハウジングローンセンター
ドリームプラザ柏	富士ハウジングローンセンター
ドリームプラザ名古屋	静岡ハウジングローンセンター
ドリームプラザ大阪	藤枝ハウジングローンセンター
ドリームプラザ京都	浜松ハウジングローンセンター
ドリームプラザ福岡	ダイレクトハウジングローンセンター

資産運用ご相談窓口

ドリームサロン渋谷	ドリームサロン茅ヶ崎
ドリームサロン新宿	ドリームサロン小田原
ドリームサロン日本橋	ドリームサロン厚木
ドリームサロン横浜	清水ファイナンシャルプラザ
ドリームサロン藤沢	



詳しい内容、お問い合わせは

アクセス
センター  **0120-50-8689**

お電話 承り時間 月～金曜日(祝日を除く) 9:00～19:00

ホーム
ページ www.surugabank.co.jp



JQA-QM4469
JQA-EM1256
JQA-IM0301
アクセスセンター